

第3回 まちなみウォッチング～隅田川のごみの現状

2025.8.3

私たちの生活の中には、使い捨てプラスチックがあふれています。使い終わったプラスチックは、プラスチック分別回収に出して、少しでもごみにしないようにします。しかし、私たちがもっと大切にすること、私たちが行動しなくてはならないことは、すぐに使い捨てになるようなプラスチック製品は使わないことです。とくにペットボトルの容器は、何回か飲み物を入れて使っても、いずれはペットボトル回収に出すことになります。水とうを使って、ペットボトル飲料を買う回数を減らしていきましょう。

今回は、隅田川にどのようなゴミが浮いているかを観察しましたが、町中からペットボトルが川に流れているのを見ました。自分たちがどんなに回収にきちんと出している、たくさんのプラスチック製品、ペットボトルを買っては、いつまでも社会は変わりません。私たちこども環境委員会では、自分たちがどのように行動したら、環境に与える悪い影響を小さくできるかを考えようとしています。大量の使い捨てプラスチックは、便利ですが、私たちの生活にこんなにたくさん必要でしょうか？

私たちは、たまたま日本に生まれて、日本人として便利な生活を送ることができていますが、だからこそ地球人の目になって、自分たちの生活を見つめ直さなくてはなりません。

そして、今は、この世界、この地球は、未来の人たちから借りているものという考え方です。未来の人に少しでもよい地球をわたすために、私たちには、新しい行動が必要です。



第4回 リサイくるくる探検隊～資源のゆくえを追いかけてよう！

2025.8.16

今回は、資源として出された物のゆくえを追いかけてきました。資源が最初に集められるリサイクルの中間処理施設、清掃車庫を見学しました。また、プラスチック分別回収について知りました。

私たちが、資源をリサイクルするときにはできることは、「きれいにして出す」と「分別して出す」です。この2つができていないと、良い資源にするために、たくさんの手間がかかることが今日の体験でわかりました。プラスチック分別回収は、燃やすごみとして出していたプラスチックを資源として出せるようになりました。もう1つ大切なことは「再生品を使う」ことです。再生品とは、資源をリサイクルして作った品物のことです。一生懸命資源を集めてたくさんさんの再生品を作っても、私たちが再生品を買わないとリサイクルは完成しません。再生品を使うところまでを私たちが実行して、リサイクルをやったということになるのです。

そしてリサイクルよりも大切なことがあることも知りました。何度でも使えるものを選ぶことです。資源をリサイクルすることは大切なことですが、リサイクルにはたくさんさんの手間とエネルギーを使います。リサイクルは魔法の言葉ではありません。たった1回使っただけでリサイクルに出してしまうペットボトルやワンウェイビンはできるだけ使わずに、自分で水筒に飲み物を入れて持ち歩くことが一番大切なことだと学びました。



第5回 私たちが目指す「プラスチックフリー」の世界

2025.9.21



ここ数年、世界中でそして、こども環境委員会でも大きなテーマの一つになっているプラスチックごみ問題。今回は、プラスチックごみの多さに気づき、それを減らすための行動を起こしたニューヨークの小学生たちの活動を追ったドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る2050年～」を見て、参加者同士で意見交換をしました。靴の中でのプラスチックを調べて、必要か不要か、他の素材でも良いかプラスチックでないとダメか、なども考えました。「持ち物がプラスチックで まじショック!」「カバンの中をみんなでチェックしたら大量にプラスチックの袋などが出てきて、こんなにみんなプラスチックを持ち歩いているんだと思った」「家族にもなるべく使い捨てプラスチックを使わないように言おうと思いました」「みんなと話し合っ自分自身はもっと地球のためになにかできるんじゃないかと思った」「35歳の自分についてもっと考えたい」「同じ小学5年生なのに行動力が凄いなと思った。そんけい◇」「今日話し合ったことをいろんな人たちにひろめ手知ってもらいたい」

初回から少し時間をかけて参加者同士で話し合うことを続けていますが、上記の感想からも分かるように、徐々に、考えをまとめて話すことができるようになり、どんどん自分の考えを人に伝えることに慣れてきています。これからの回が楽しみです。

第6回 「グリーンコンシューマー」になろう

2025.10.19

環境を考え、環境を大切に行動する消費者がどんなことに配慮しているのかを知り、買い物に出ました。実際の買い物では、考えることがたくさんありました。通信に詳しく書いています。環境問題の一つであるごみ問題は「選ぶ」＝「買う」という行動によっておきています。買うときに考えれば、ごみになるものを減らすことができます。お金の使い方も大切です。すぐにごみになるものを選んだり、食品を食べずに捨ててしまうことは、お金を捨てていることです。

私たちは毎日、いろいろなコトやモノを「選ぶ」ということをしながら生活しています。食べ物や洋服や文房具を買うとき、何を買おうかと選んでいます。遊びに行く時にも、車で行くか電車でいくか、自転車で行くか歩いていくかを選んでいきます。何を選ぶかによって、環境への影響が大きくなったり小さくなったりします。社会問題や環境問題の解決に取り組む会社や団体の製品やサービスを選んで購入していくことで、会社や団体を応援することになり、同じように考える商品が増えて、社会を変えていくことができるのです。

「前より買い物で考えることが増えました。次買い物するときも気をつけます」「近くで生産されたものはプラスチックの袋に入っていたので、遠くの町で生産された物を買った。袋がなければ良いのに。」「環境ラベルを意識しながら次の買い物にいかしていきたい」などの感想がありました。

考える、他の人に伝え広げていく、その行動こそグリーンコンシューマーです。



第7回 作って食べよう！エコクッキング

2025.11.9

エコクッキングとは環境のことを考えて、買い物、料理、片付け、保存をすることです。生活の中で、環境への影響を考える時、身近に取り組むやすいのが食べることに関わることです。特別なことはないかもしれませんが、小さな工夫を積み重ねていくことが大切です。

今、私たちはあたりまえのように何気なく、毎日食事ができています。おやつも食べられます。お店に行けば、気軽に食べ物が買えます。でも・・・

☆私のクラスメートが、世界中のみんなが、本当に平等に食べることができているのか

☆世界中の人が、きれいで安全なお水を飲むことができているのか

☆すぐにごみになるものを買ったり、もらったりしていないか

☆食べ物や水、エネルギーや資源をムダにしていないか

☆私たちが食べているお肉や卵のもとになっている牛、豚、鶏は、どんな育てられかたをしているのか。

実際を見に行くことはすぐにはできないかもしれませんが、想像してみてください。一つ一つは小さな、別々のことに思えるかもしれませんが、私たちのあたりまえと思っていることが、あたりまえでない人たち、動物たちがたくさんいます。私たちのあたりまえと思っていることが、あたりまえでないことがたくさんあります。

そして、私たちのあたりまえは、ずっと続くかはわからないのです。

環境問題の正解は一つではありません。ですから、自分は何を大切に、その大切なもののために何ができるかを考えます。でもそれは、となりの人とは違うことがあるかもしれません。自分の大切なもの、となりの人が大切なもの、どちらも大切にしながら、どこに向かって、どんなものを目指しているのかを、みんなと話していくことが大切です。



第8回 雑木林で木こり体験（八王子自然体験）

2025.12.7

「東京都八王子戸吹北緑地保全地域」で「戸吹北森を守る会」の方々から指導を受けながら、雑木林と生態系の保全活動のお手伝いをしました。今回は、自分の身長よりも高いアズマネザサという下草の刈り込み、落ち葉かき、落ち葉溜プール遊び、間伐など、どれも新鮮で、刺激的でした。自分の背丈よりも長い熊手を使い、半袖Tシャツで頑張った落ち葉かきはカブトムシの幼虫を育むプールを満杯にしました。満杯のプールでダイビングやトレインをみんなで楽しんでいました。

「おちばの山 大量にあれば ふわふわだ」「木の切り方がよく分かった」「体験場所までが坂や急なくだりがあって楽しかった」「大変な作業があってこんなに苦労するんだなと思いました。特に間伐は難しかった」などと日頃の環境とは違う場所での体験で感じた感想がありました。

森林には多くの役割があります。土砂災害を予防してくれたり、ダムのように水をためてくれます。多くの生き物がその中で生きているし、私たちに資源を提供してくれます。木は成長する中で、人間の生活が出す二酸化炭素を吸収して、私たちが必要な酸素をはき出します。きちんと手入れされた森は健康で生態系も豊かになります。戸吹北緑地でも絶滅危惧種と指定されている貴重な生物が沢山生きているそうです。一度人間が手を入れた森は人間が面倒を見る必要があります。そして、自然との付き合いは続けることがとても大事です。機会を見つけてまたやってみましょう。

